

令和2年度

市政モニターアンケート調査結果  
【 長崎市の世界遺産の周知状況について 】



長 崎 市  
世界遺産室

## 1. 調査の目的

長崎市は平成 27 年に世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」及び平成 30 年に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の 2 つの世界遺産があるまちとなっています。

これらの世界遺産を長崎市民にとって誇りや愛着のあるものにしたいと考えています。

そのため、各構成資産に対する市民の認知度や関心の高さについて調査することで、今後の世界遺産の保存や周知啓発活動に活かすことを目的としています。

## 2. 調査の概要

調査期間：令和 2 年 8 月 1 日 ～ 令和 2 年 8 月 18 日

送付数：230 人（郵送モニター 183 人 インターネットモニター 47 人）

回答率：88.0%（202 人）

（郵送回答 181 人 インターネット回答 21 人）

## 3. 調査結果

今回の調査結果では、長崎市には「2 つの世界遺産」があることは多くの市民の方がご存じであることが分かったものの、個々の構成資産の認知度に大きな差があり、世界遺産全体の周知に加え、各構成資産の価値や魅力等の周知に努めていく必要があることが分かりました。

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業（以下、「産業革命遺産」という。）については、9 割以上の方が長崎市内にあることをご存知であるものの、構成資産ごとに見ると一番認知度の高い「端島（軍艦島）」と、一番認知度の低い「旧木型場」とは 74.8 ポイントの差があります。

このことから非公開となっている三菱造船所の資産も含め認知度の向上を図るため、「産業革命遺産」のインフォメーション施設として各構成資産を紹介しているグラバー園内の旧三菱第 2 ドックハウス、旧木型場、軍艦島資料館等による周知を強化するとともに、人が多く集まる繁華街等の長崎市内各地においても情報発信に努める必要があると感じました。

また構成資産の 1 つとなっている端島炭坑（軍艦島）については、将来にわたり保全をしていくために「端島（軍艦島）整備基金」を設置しているものの、認知度は 2 割にも到達せず、非常に低いことが分かります。

このことから、「端島（軍艦島）整備基金」については端島炭坑（軍艦島）の価値と保全をすることの大切さをもっと伝えるとともに、整備状況の報告を行うこ

とと並行しながらインターネットやふるさと納税、個人、企業団体による寄附の方法等についてもっと周知を行っていく必要があると感じました。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産(以下、「潜伏キリシタン関連遺産」という。)」については、9割近くの方が長崎市内にあることをご存知であるものの、構成資産ごとにみると一番認知度の高い「大浦天主堂」と、一番認知度の低い「外海の大野集落」とは68.0ポイントの差があります。

このことから、「外海の大野集落」や「外海の出津集落」を含めた外海地区の構成資産の認知度の向上を図るため、「潜伏キリシタン関連遺産」のインフォメーション施設として各構成資産を紹介している外海歴史民俗資料館による周知を強化し、世界遺産巡り目的の方はもちろん、世界遺産以外の目的で外海地区を訪れた方にも興味や知識を深めていただくとともに、人が多く集まる繁華街等の長崎市内各地においても情報発信に努める必要があると感じました。

また、「産業革命遺産」「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産に行った理由として世界遺産や歴史的背景に興味があるという結果が得られました。

一方で世界遺産登録後に「産業革命遺産」「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産に行かない理由として世界遺産登録前に行ったことがあることや行く機会がないとの回答が多い結果となりました。

このことから、各構成資産に来てもらうには、構成資産の情報発信はもちろんのことイベントなど構成資産を訪れるためのきっかけづくり及び、継続的に構成資産を訪れていただくために情報の充実や来訪者受入体制など、満足度向上のための取り組みが必要です。

本アンケートで寄せられたご意見を参考に今後とも長崎市にある2つの世界遺産全体の価値に加え、各構成資産の価値や魅力等の理解を深めていただくための情報発信に努めてまいります。

最後に、本アンケートにご協力いただきました皆様に心からお礼を申し上げます。

#### 4. 調査結果の見方

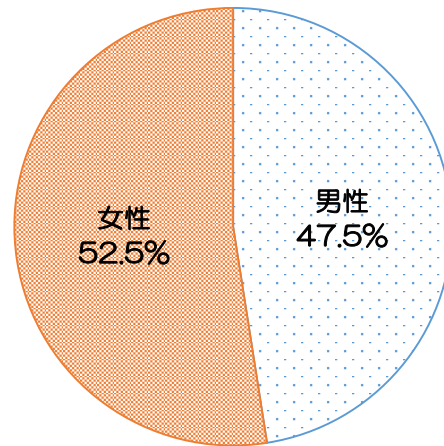
調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる間については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

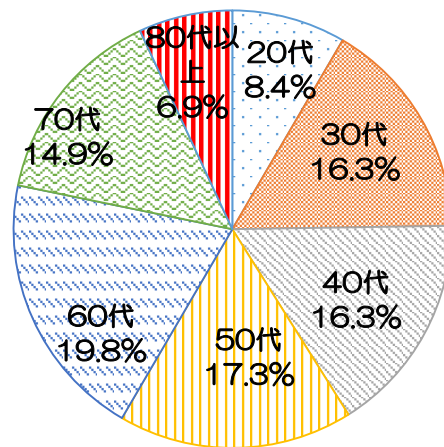
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	96人	47.5%
女性	106人	52.5%
合計	202人	100.0%



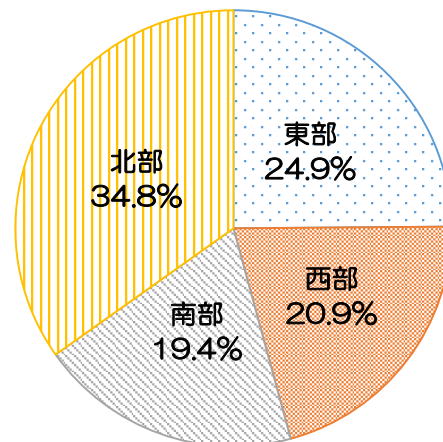
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	17人	8.4%
30代	33人	16.3%
40代	33人	16.3%
50代	35人	17.3%
60代	40人	19.8%
70代	30人	14.9%
80代以上	14人	6.9%
合計	202人	100%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	50人	24.9%
西部	42人	20.9%
南部	39人	19.4%
北部	70人	34.8%
合計	201人	100.0%



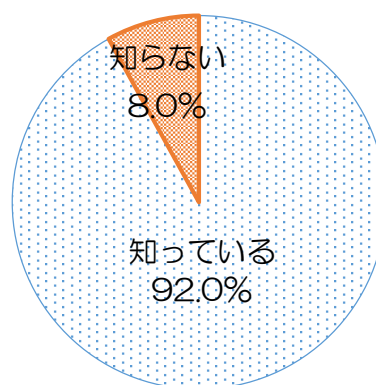
※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

無回答：1人

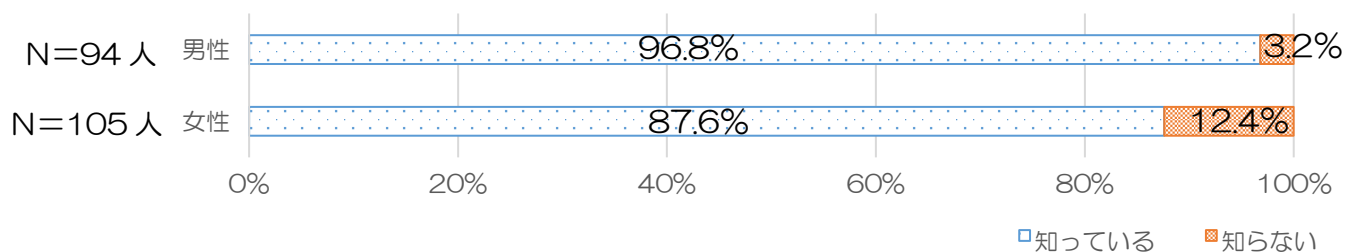
問 12 長崎市内に世界遺産の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」があることを知っていますか。

選択肢	回答者数	割合
知っている	183人	92.0%
知らない	16人	8.0%
合計	199人	100.0%

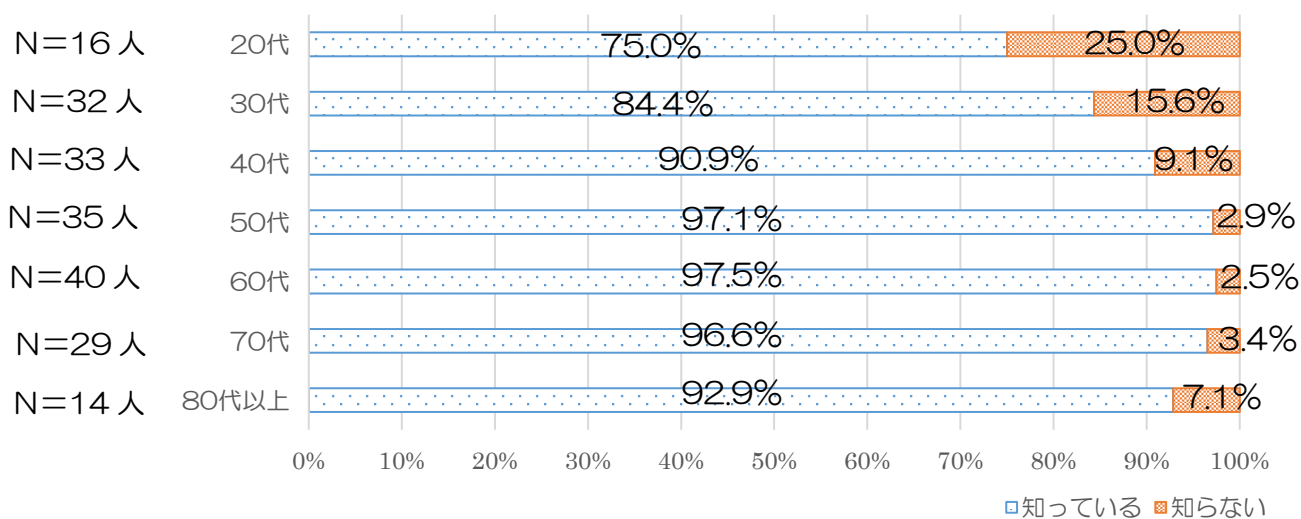
無回答：3人



各選択肢の性別割合



各選択肢の年代別割合



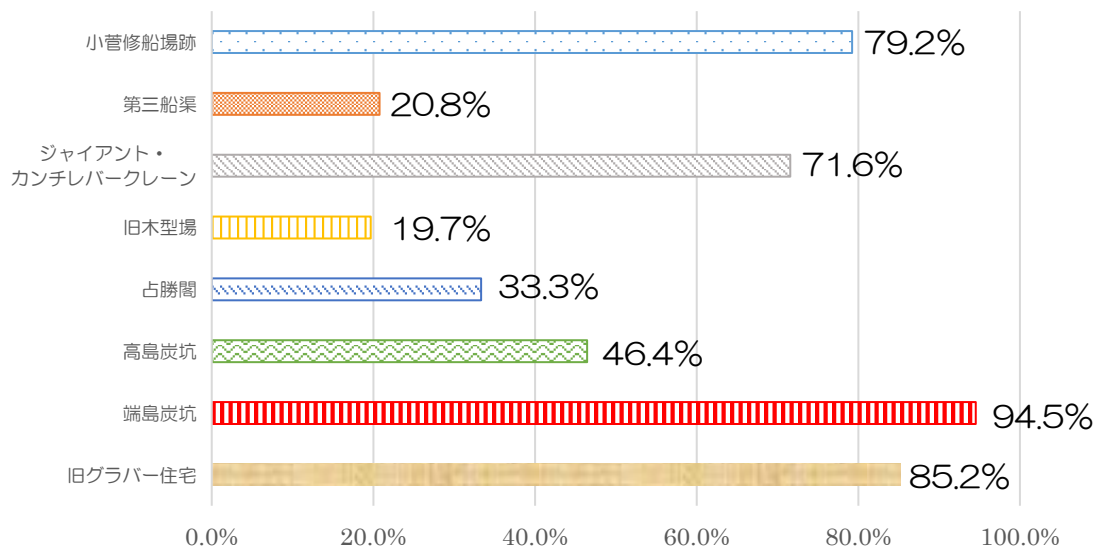
長崎市内に世界遺産の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」があることを知っていると回答された方の割合は92.0%で9割以上のかたが「産業革命遺産」をご存じであることが分かりました。

ただし、年代別で見ると、40代以上では90%以上が「知っている」と答えています。30代、20代と年代が低くなるにつれ、「知らない」と回答された方の割合が高まっているという結果になりました。

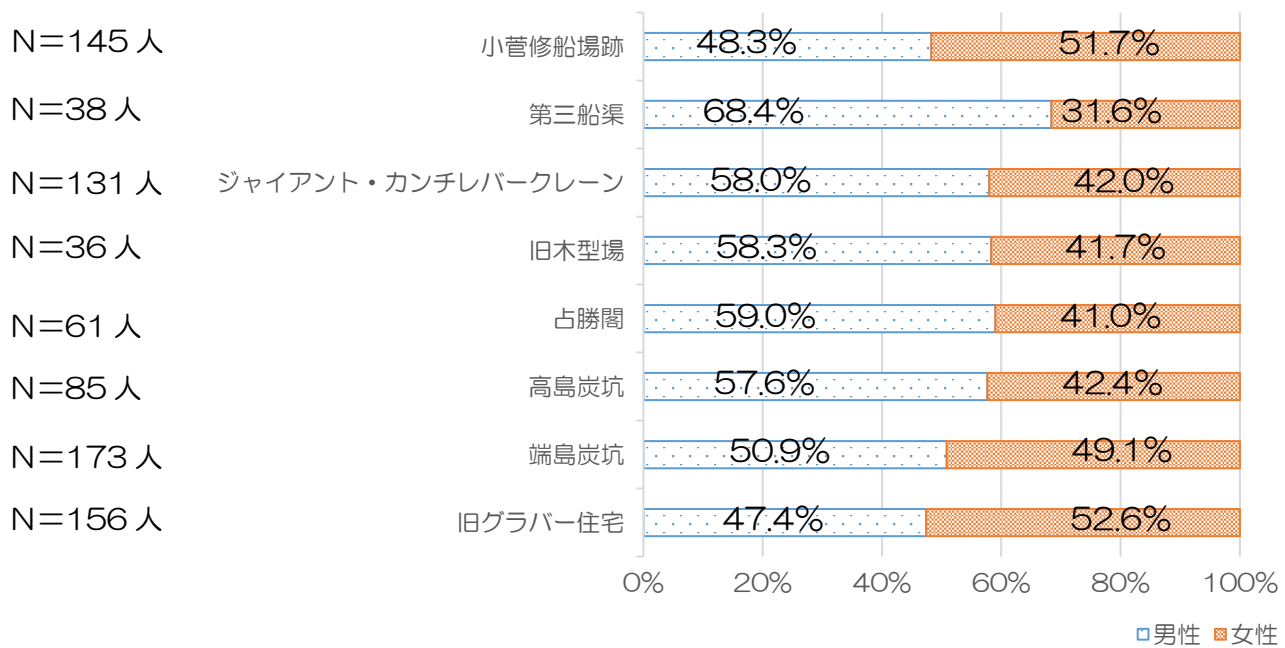
問 13 問 12で「1 知っている」と回答した方に質問です。長崎市内にある「産業革命遺産」のうち知っている構成資産を教えてください。【複数回答可】

選択肢	回答者数	割合
小菅修船場跡	145 人	79.2%
第三船渠	38 人	20.8%
ジャイアント・ カンチレバークレーン	131 人	71.6%
旧木型場	36 人	19.7%
占勝閣	61 人	33.3%
高島炭坑	85 人	46.4%
端島炭坑	173 人	94.5%
旧グラバー住宅	156 人	85.2%

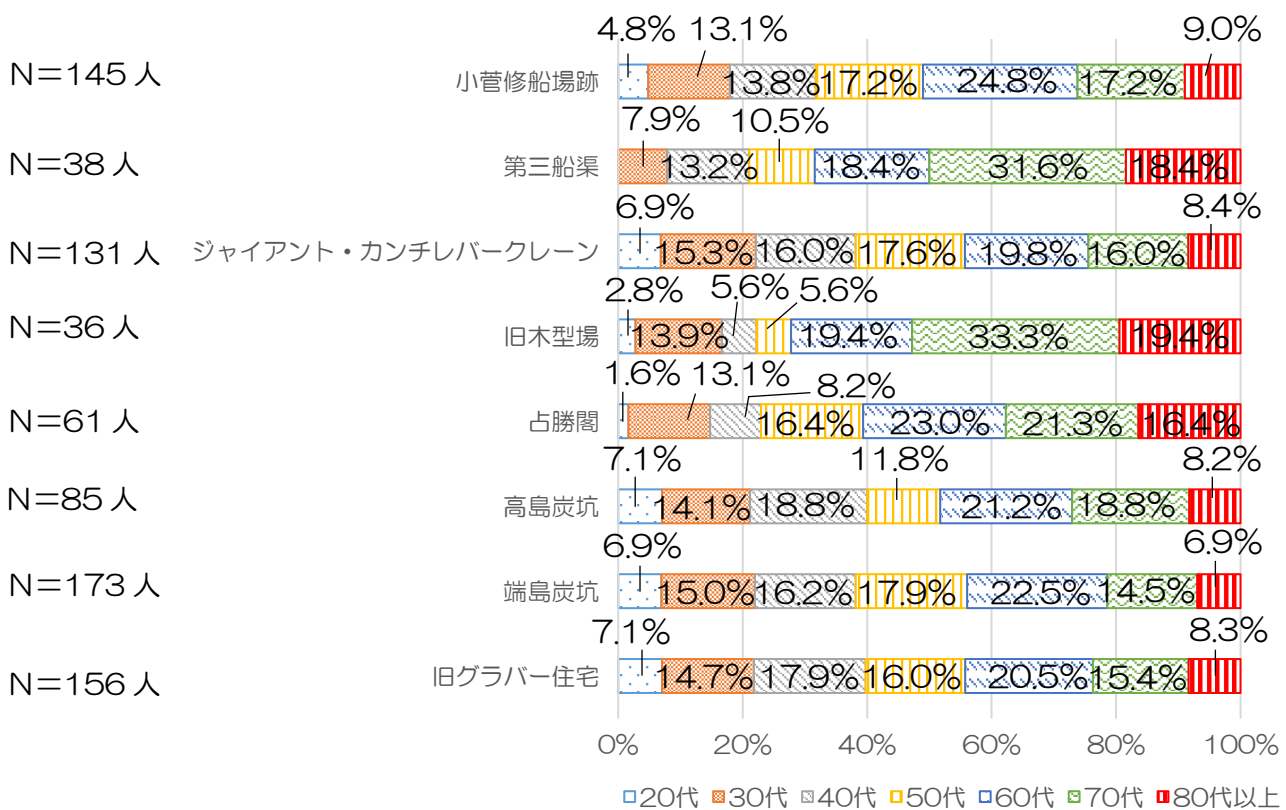
回答者数：183 人、有効回答数：825



### 各選択肢の性別割合



### 各選択肢の年代別割合

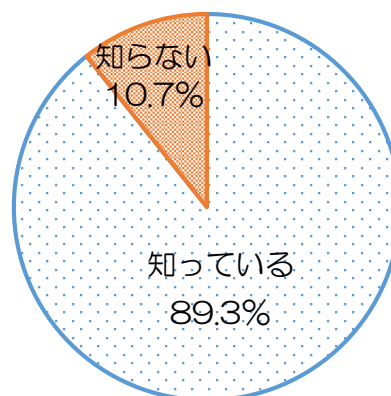


構成資産ごとに見ると、認知度にばらつきがあることがわかりました。「端島炭坑（軍艦島）（94.5%）」や「旧グラバー住宅（85.2%）」は認知度が高いものの、三菱長崎造船所構内にある稼働資産のうち「旧木型場（19.7%）」、「第三船渠（20.8%）」、「占勝閣（33.3%）」の認知度は低い結果となりました。

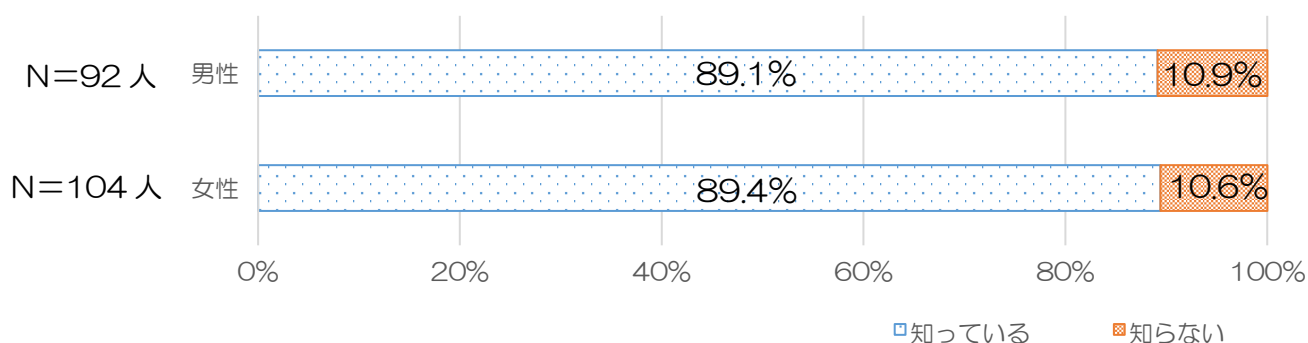
問 14 長崎市内に世界遺産の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」があることを知っていますか。

選択肢	回答者数	割合
知っている	175 人	89.3%
知らない	21 人	10.7%
合計	196 人	100.0%

無回答：6 人

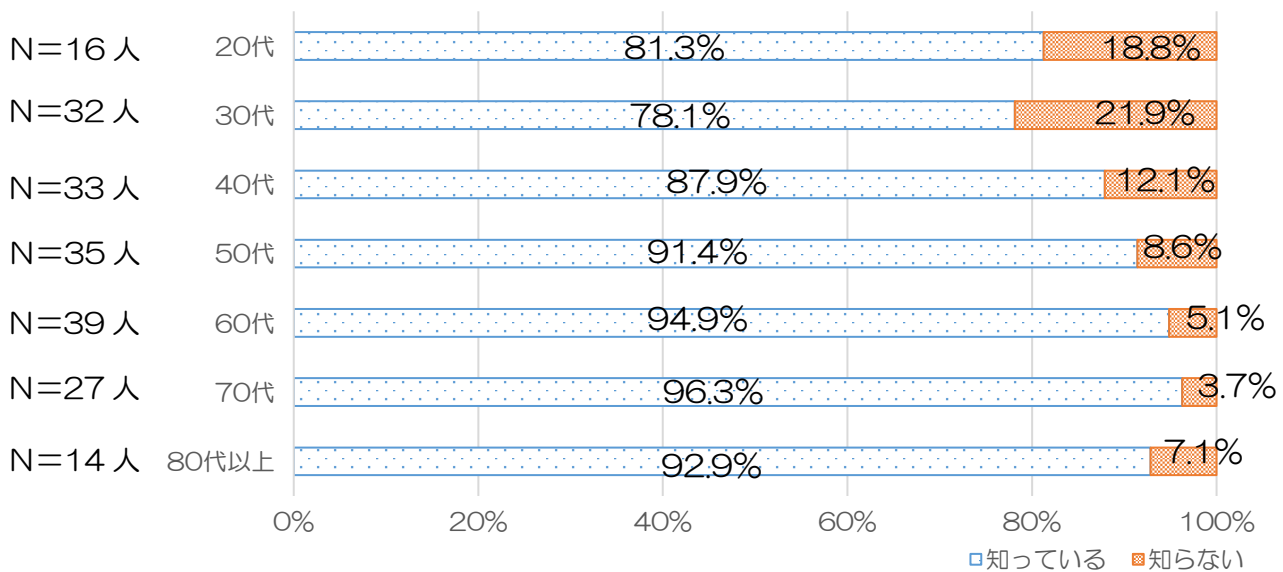


各選択肢の性別割合





### 各選択肢の年代別割合

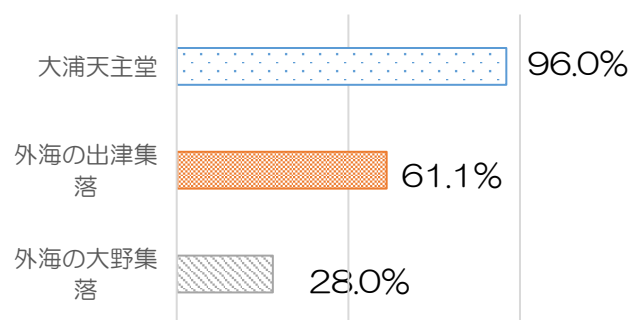


長崎市内に世界遺産の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」があることを知っていると回答された方の割合は89.3%で9割近くの方が「潜伏キリシタン関連遺産」をご存じであることが分かりました。

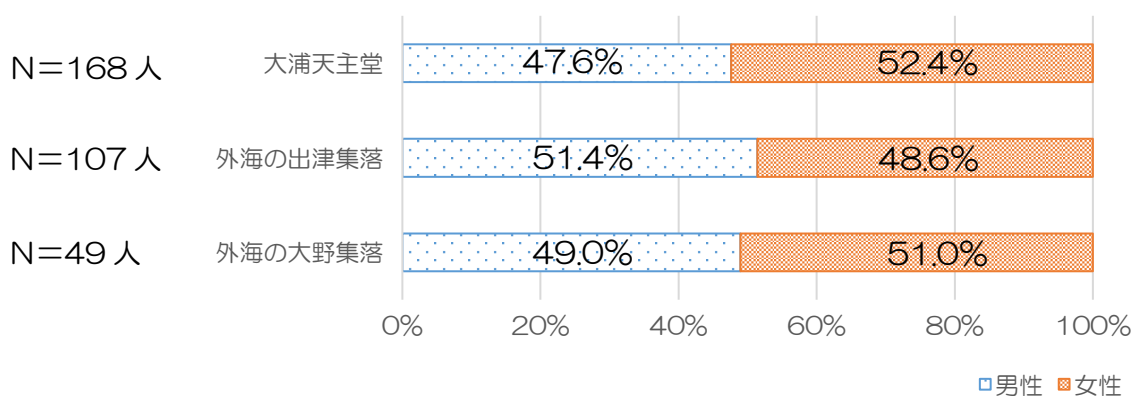
問15 問14で「1 知っている」と回答した方に質問です。長崎市内にある「潜伏キリシタン関連遺産」のうち知っている構成資産を教えてください。【複数回答可】

選択肢	回答者数	割合
大浦天主堂	168人	96.0%
外海の出津集落	107人	61.1%
外海の大野集落	49人	28.0%

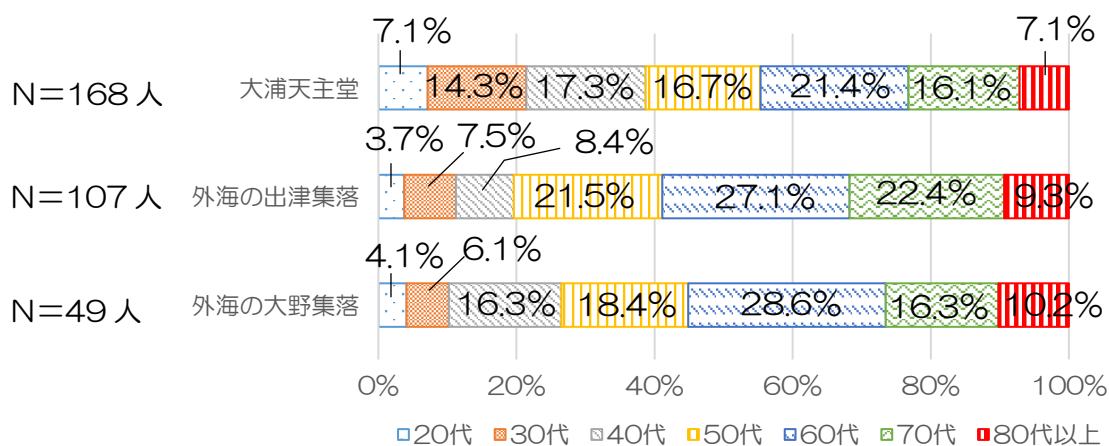
回答者数：175人、有効回答数：324



### 各選択肢の性別割合



### 各選択肢の年代別割合

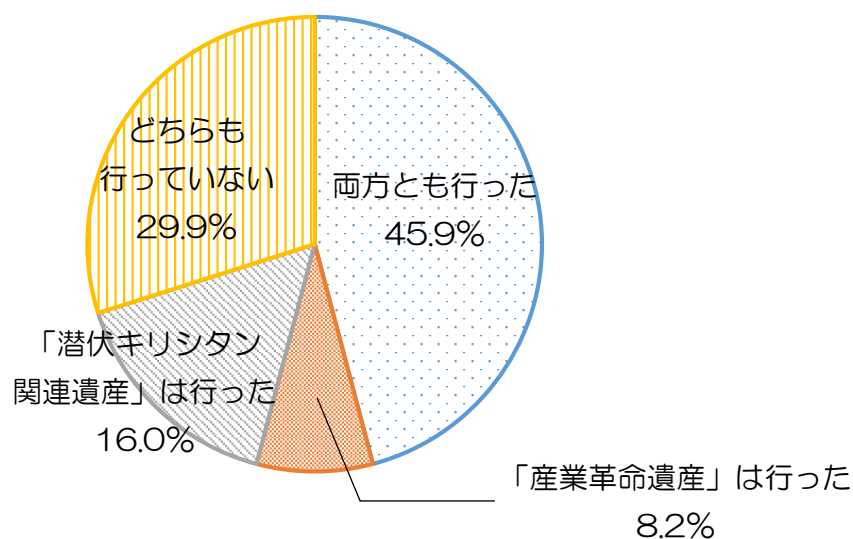


構成資産ごとに見ると、「大浦天主堂（96.0%）」、「外海の出津集落（61.1%）」、「外海の大野集落（28.0%）」という結果であり、観光地である「大浦天主堂」に比べて「集落」の認知度が低いことが分かりました。

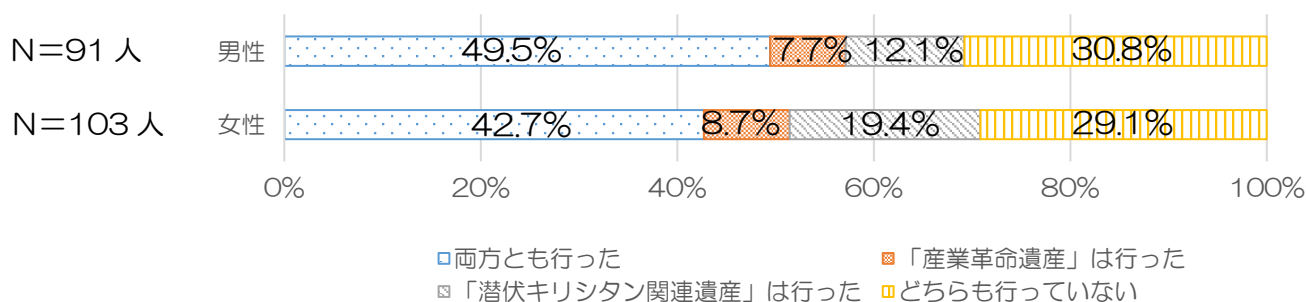
問 16 世界遺産の構成資産に実際に行ったことがありますか。

選択肢	回答者数	割合
両方とも行った	89人	45.9%
「産業革命遺産」は行った	16人	8.2%
「潜伏キリシタン関連遺産」は行った	31人	16.0%
どちらも行ってない	58人	29.9%
合計	194人	100.0%

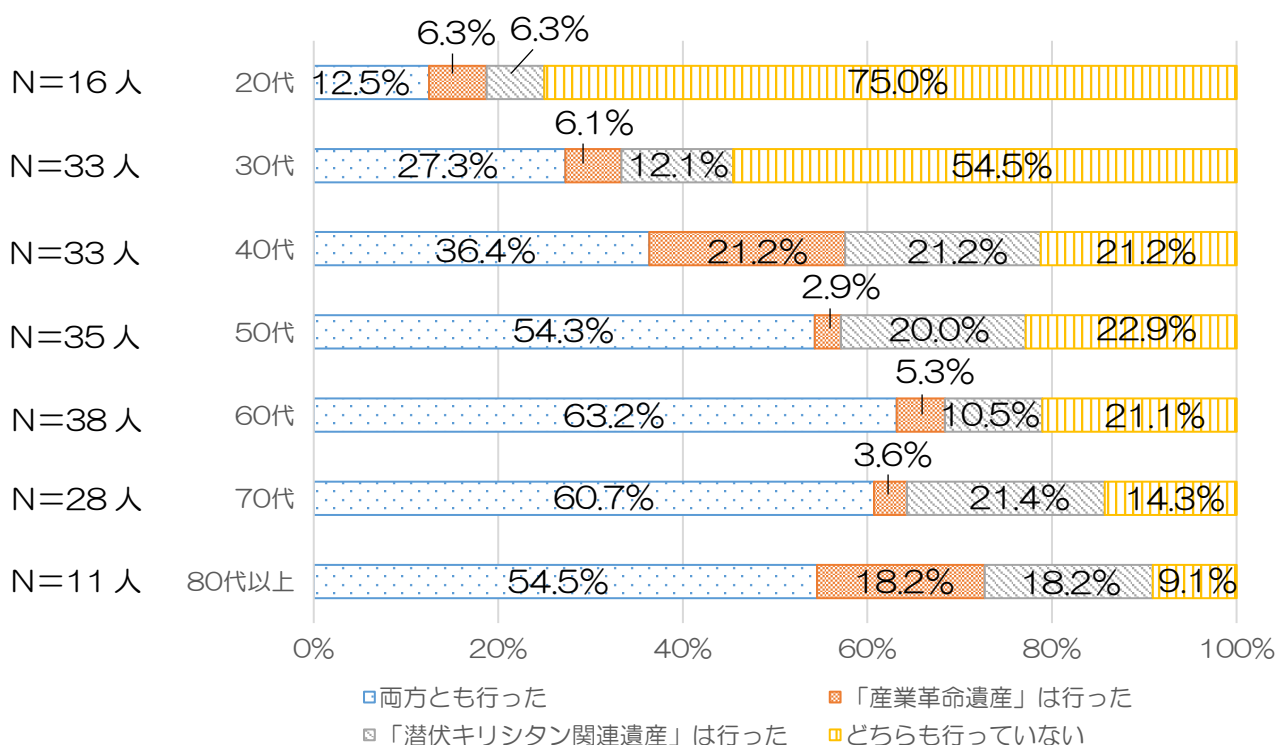
無回答：5人、無効回答：3人



## 各選択肢の性別割合



## 各選択肢の年代別割合



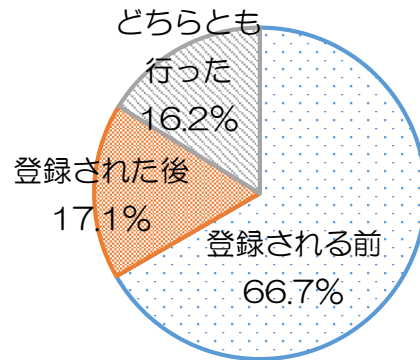
「産業革命遺産」と「潜伏キリシタン関連遺産」は行ったことがあるかを尋ねたところ、「両方とも行った」「『産業革命遺産』は行った」「『潜伏キリシタン関連遺産』は行った」と回答された方が70.1%となっており、実際に世界遺産の構成資産に行ったことがある人が7割を超えていることがわかります。

しかしながら、「どちらも行ってない」と回答された方が29.9%おられ、年代別で見ると、40代以上では70%以上が世界遺産の構成資産に行ったことがあると回答されていますが、30代、20代と年代が低くなるにつれ「どちらも行ってない」と回答されたほうの割合が高くなり、20代は7割超が世界遺産の構成資産に行ったことがないことがわかりました。

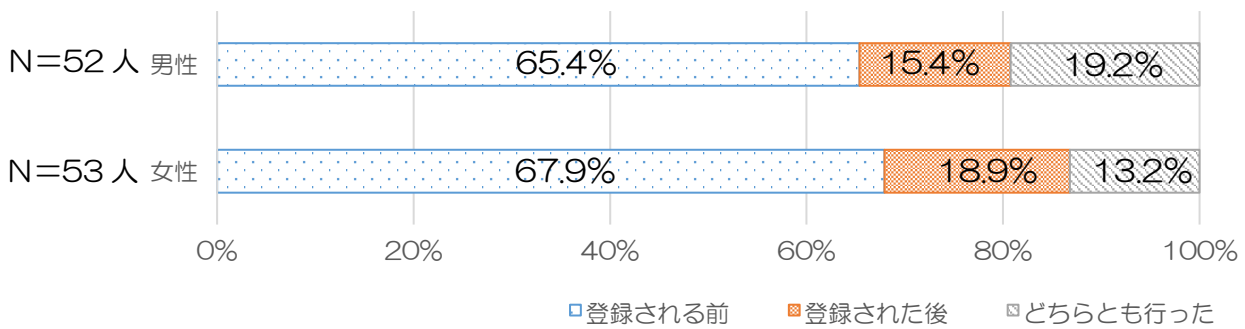
問 17 問 16で「1 両方とも行った」、「2 『産業革命遺産』は行った」、「3 『潜伏キリシタン関連遺産』は行った」と回答した方に質問です。行った時期は世界遺産に登録される前か登録された後のどちらですか。（「産業革命遺産」及び「潜伏キリシタン関連遺産」においてそれぞれご回答ください。）

【産業革命遺産】

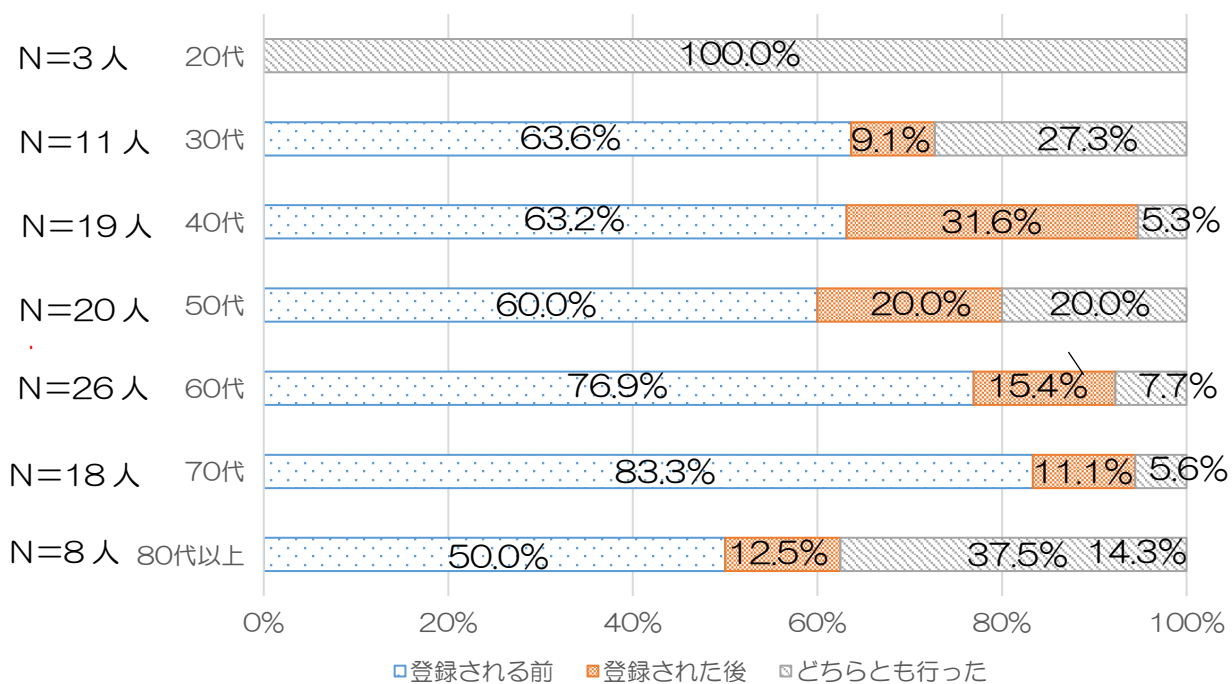
選択肢	回答者数	割合
登録される前	70人	66.7%
登録された後	18人	17.1%
どちらとも行った	17人	16.2%
合計	105人	100.0%



各選択肢の性別割合



各選択肢の年代別割合

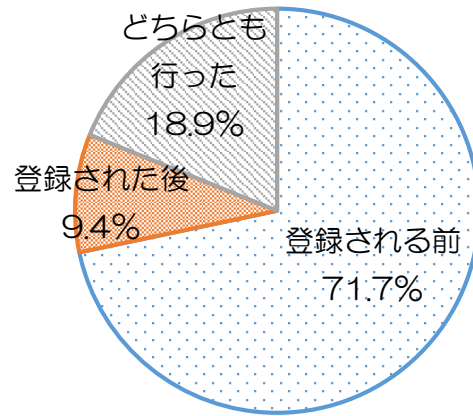


「産業革命遺産」に行った時期について尋ねたところ、「登録される前」と回答された方が66.7%おられ、世界遺産登録後に「産業革命遺産」に行った人は半数未満であることがわかります。

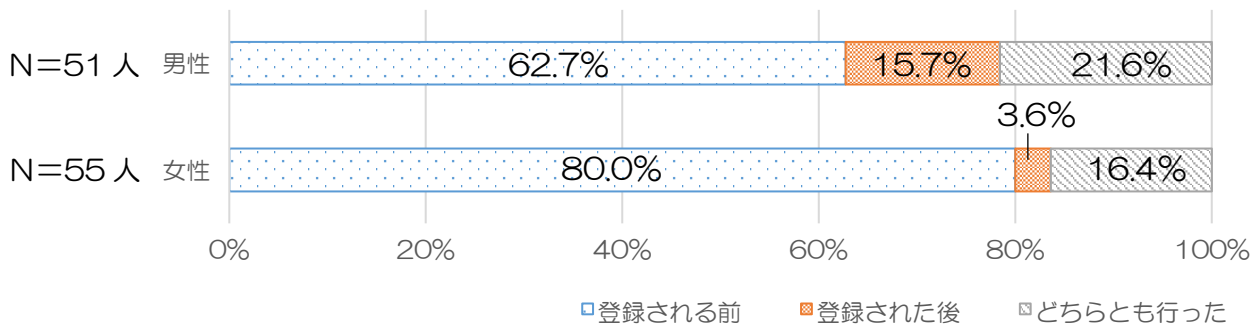
【潜伏キリシタン関連遺産】

選択肢	回答者数	割合
登録される前	76人	71.7%
登録された後	10人	9.4%
どちらとも行った	20人	18.9%
合計	106人	100.0%

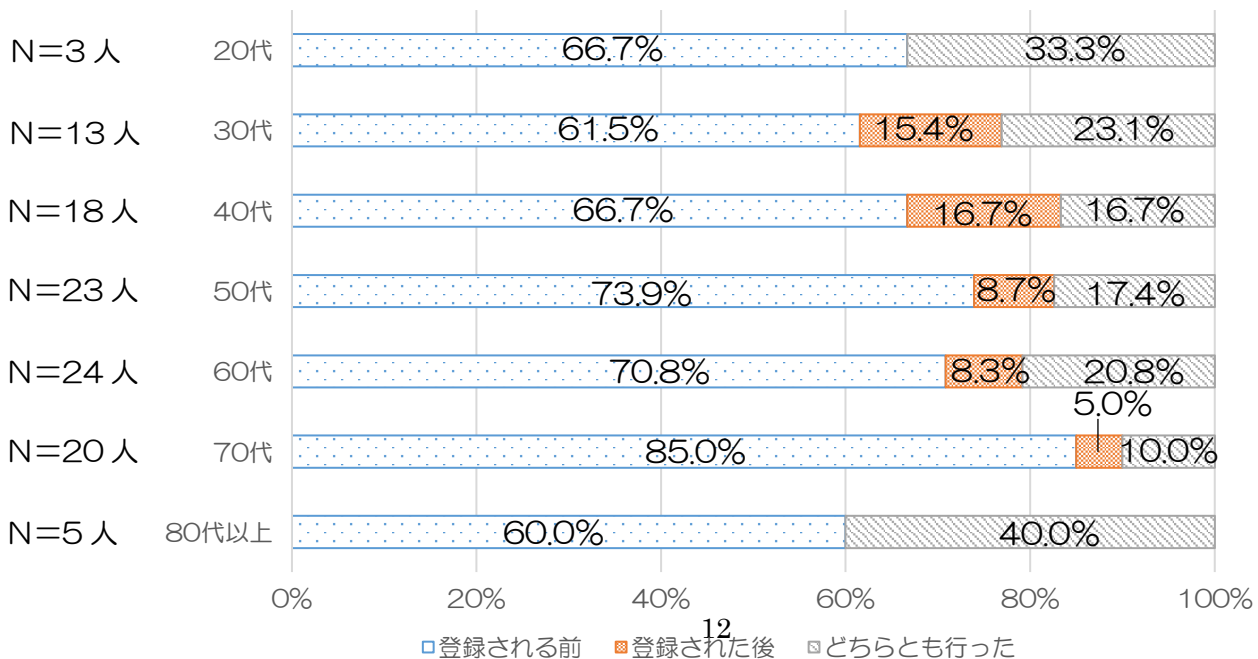
無回答：14人



各選択肢の性別割合



各選択肢の年代別割合



「潜伏キリシタン関連遺産」に行った時期について尋ねたところ、「登録される前」と回答された方が71.7%おられ、世界遺産登録後に「潜伏キリシタン関連遺産」に行った人は3割に満たないことがわかります。

「産業革命遺産」、「潜伏キリシタン関連遺産」の両遺産とも「登録される前」と回答した方が7割前後を占めており、「登録された後」、「どちらとも行った」方の割合が3割程度であることがわかります。

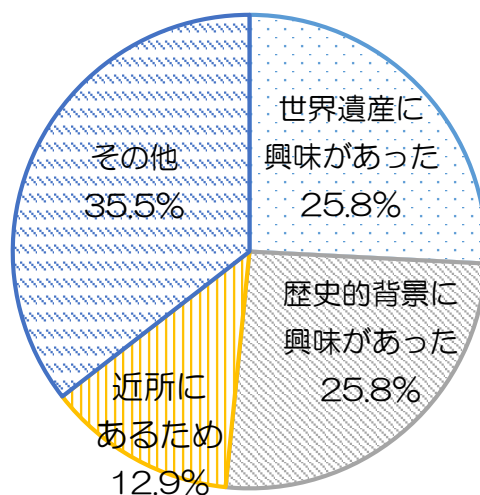
このことから、「産業革命遺産」及び「潜伏キリシタン関連遺産」の両遺産は世界遺産に登録される前から市民にとってはなじみのあるものであったことがわかりました。

問 18 問 17で「2 登録された後」「3 どちらとも行った」と回答した方に質問です。理由があればお選びください。（「産業革命遺産」及び「潜伏キリシタン関連遺産」においてそれぞれご回答ください。）

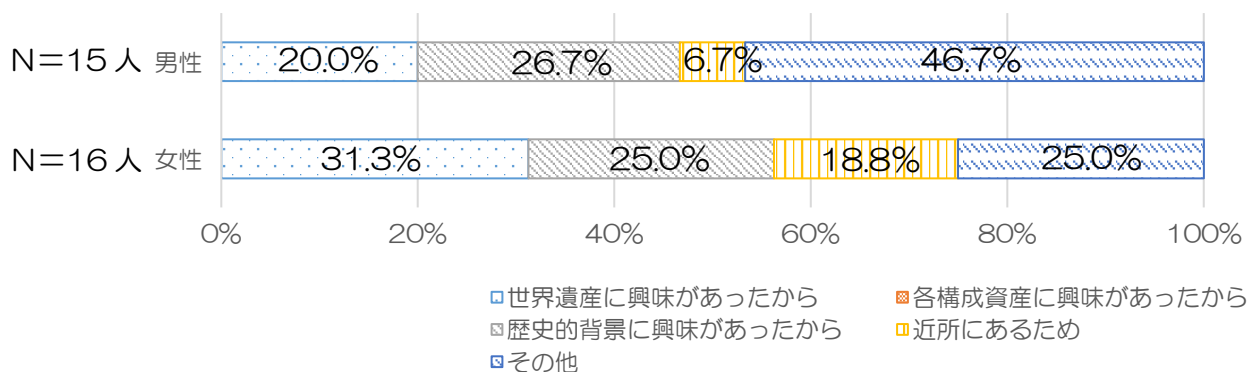
【産業革命遺産】

選択肢	回答者数	割合
世界遺産に興味があった	8人	25.8%
各構成資産に興味があった	0人	0.0%
歴史的背景に興味があった	8人	25.8%
近所にあるため	4人	12.9%
その他	11人	35.5%
合計	31人	100.0%

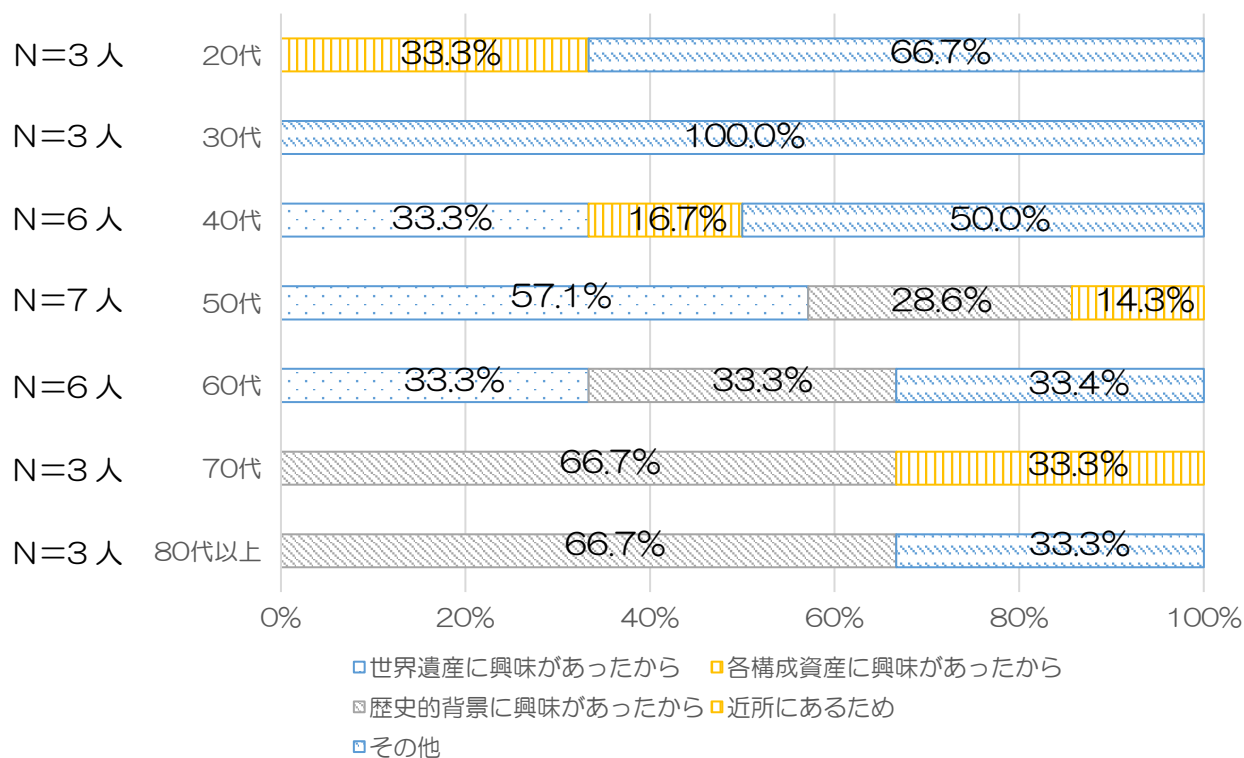
無回答=1人、無効回答=16人



各選択肢の性別割合



## 各選択肢の年代別割合



## その他の回答

- ・観光で1度行き、世界遺産に登録された後、改めて行きたいと思ったから
- ・バスツアー
- ・県外の友人を観光に連れていくため
- ・ウォーキング大会で行った
- ・仕事の関係で三菱重工を訪問することがあるため
- ・グラバー園でのイベントがあったから
- ・ベイサイドウォークで立ち寄った
- ・興味をもっている親族が旅行に来たので一緒に行った
- ・友人の観光案内として
- ・世界遺産認定を活かしたまちあるきの検討のため
- ・友人が他県から観光に来たため  
観光案内を兼ねて連れて行った
- ・子どもの自由研究のため

「産業革命遺産」の構成資産に「登録された後」もしくは「どちらとも行った」理由として、「世界遺産に興味があったから (25.8%)」「歴史的背景に興味があったから (25.8%)」と回答した方が一番多く3割近くとなりました。

行った理由の内容について、「観光案内のため」といった意見があり、構成資産が観光地として注目を集めていることが分かりました。

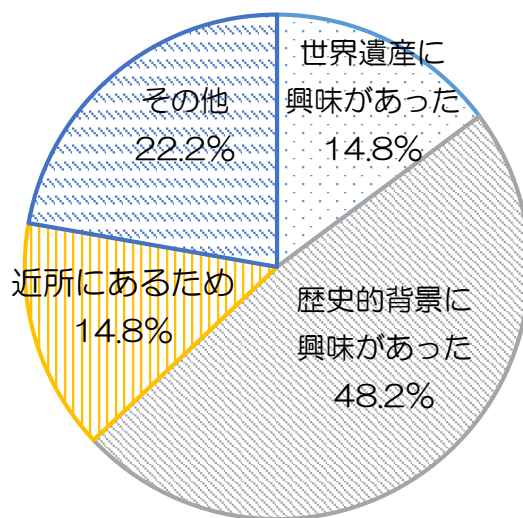
また、一方で「その他」として、「イベントがあったから」という意見も目立ってお

り、イベントが構成資産になじみを持っていただくきっかけとなっていることも分かりました。

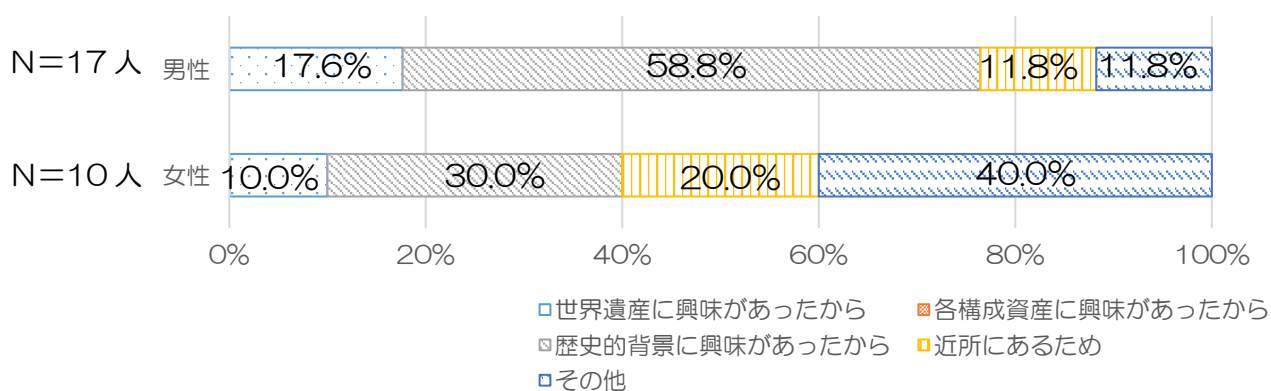
【潜伏キリシタン関連遺産】

選択肢	回答者数	割合
世界遺産に興味があった	4人	14.8%
各構成資産に興味があった	0人	0.0%
歴史的背景に興味があった	13人	48.2%
近所にあるため	4人	14.8%
その他	6人	22.2%
合計	27人	100.0%

無回答：2人、無効回答：22人

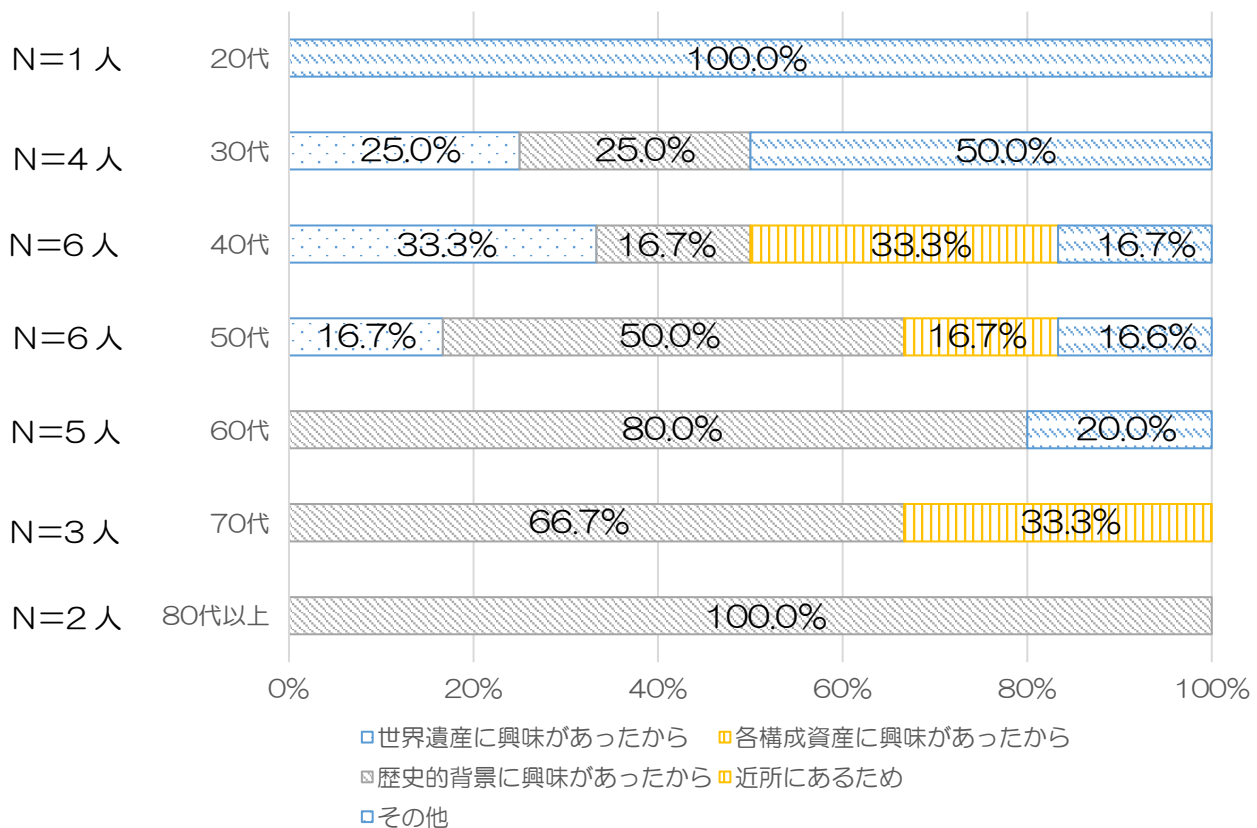


各選択肢の性別割合





## 各選択肢の年代別割合



### その他の回答

- ・観光で1度行き、世界遺産に登録された後に、知人に紹介をしたいと思ったから
- ・たまたま近くを通ったので
- ・学校の授業で行った
- ・カトリックなので親を連れて訪問
- ・クリスマスのミサのため
- ・結婚式のため
- ・学校のフィールドワークとして行った
- ・友人の観光案内として

「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産に「登録された後」もしくは「どちらとも行った」理由として、「歴史的背景に興味があったから（48.2%）」と回答した方が一番多く半数近くとなりました。

「その他」の行った理由の内容について、「観光案内のため」といった意見があり、構成資産が観光地として注目を集めていることが分かりました。

また、一方で「学校の授業の一環として」という意見もあり、教育の現場において「潜伏キリシタン関連遺産」が学習されていることも分かりました。

「産業革命遺産」、「潜伏キリシタン関連遺産」の両遺産とも「歴史的背景に興味があったから」の割合が多いことが分かりました。

また、行った理由の内容についていずれも「観光案内のため」という意見があり、構成資産が市民にとって誇りをもつことができる資産であるとともに観光地として注目を集めていることが分かりました。

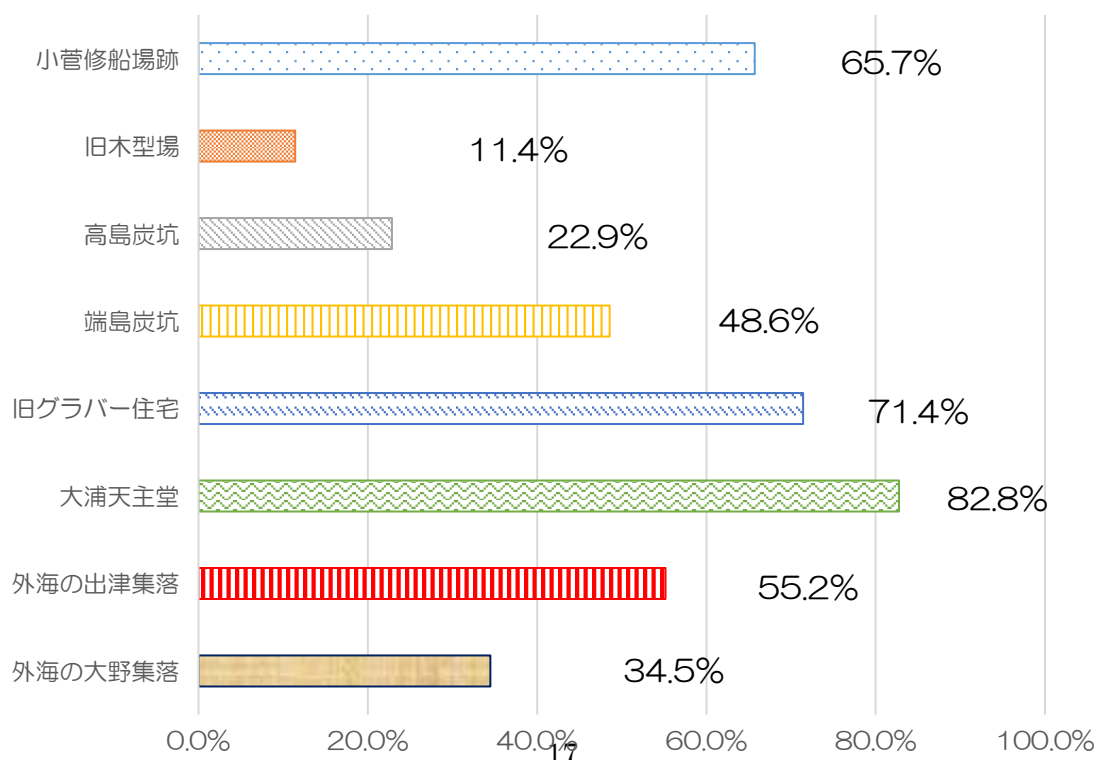
問 19 問 17で「2 登録された後」「3 どちらとも行った」と回答した方に質問です。行った構成資産をお答えください。【複数回答可】

選択肢	回答者数	割合
小菅修船場跡	23 人	65.7%
旧木型場	4 人	11.4%
高島炭坑	8 人	22.9%
端島炭坑	17 人	48.6%
旧グラバー住宅	25 人	71.4%
大浦天主堂	24 人	82.8%
外海の出津集落	16 人	55.2%
外海の大野集落	10 人	34.5%

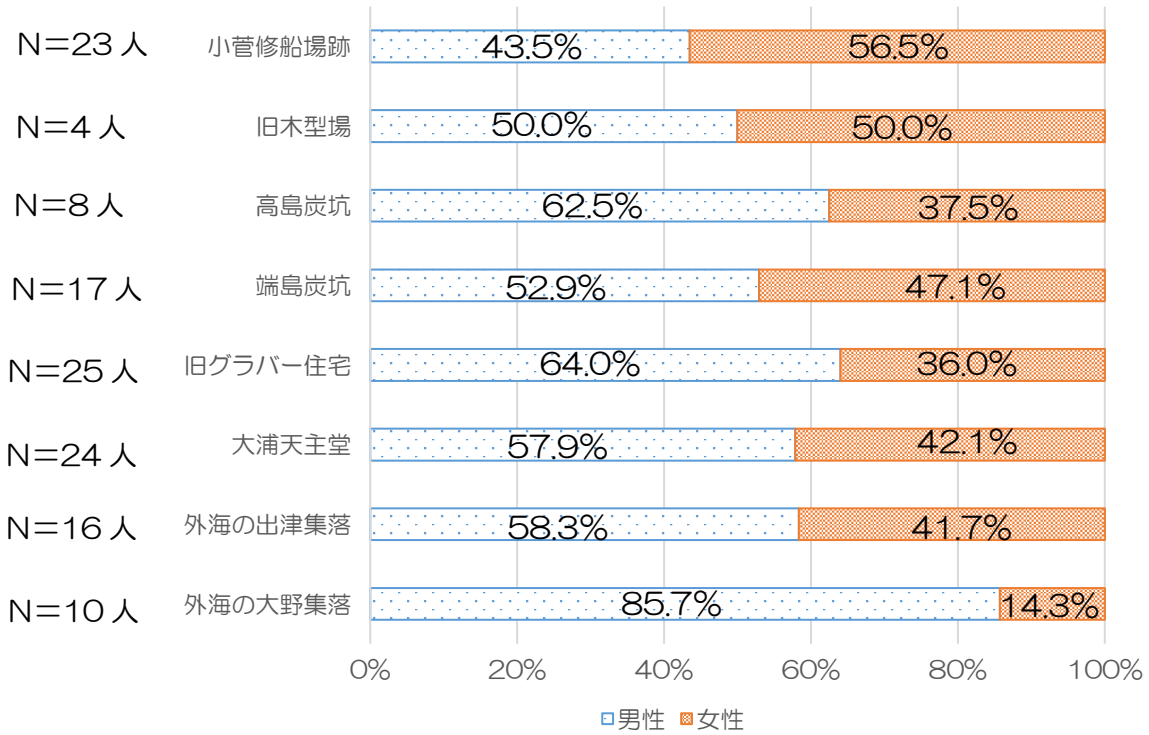
回答者数：55 人

有効回答数：77（小菅修船場跡～旧グラバー住宅）

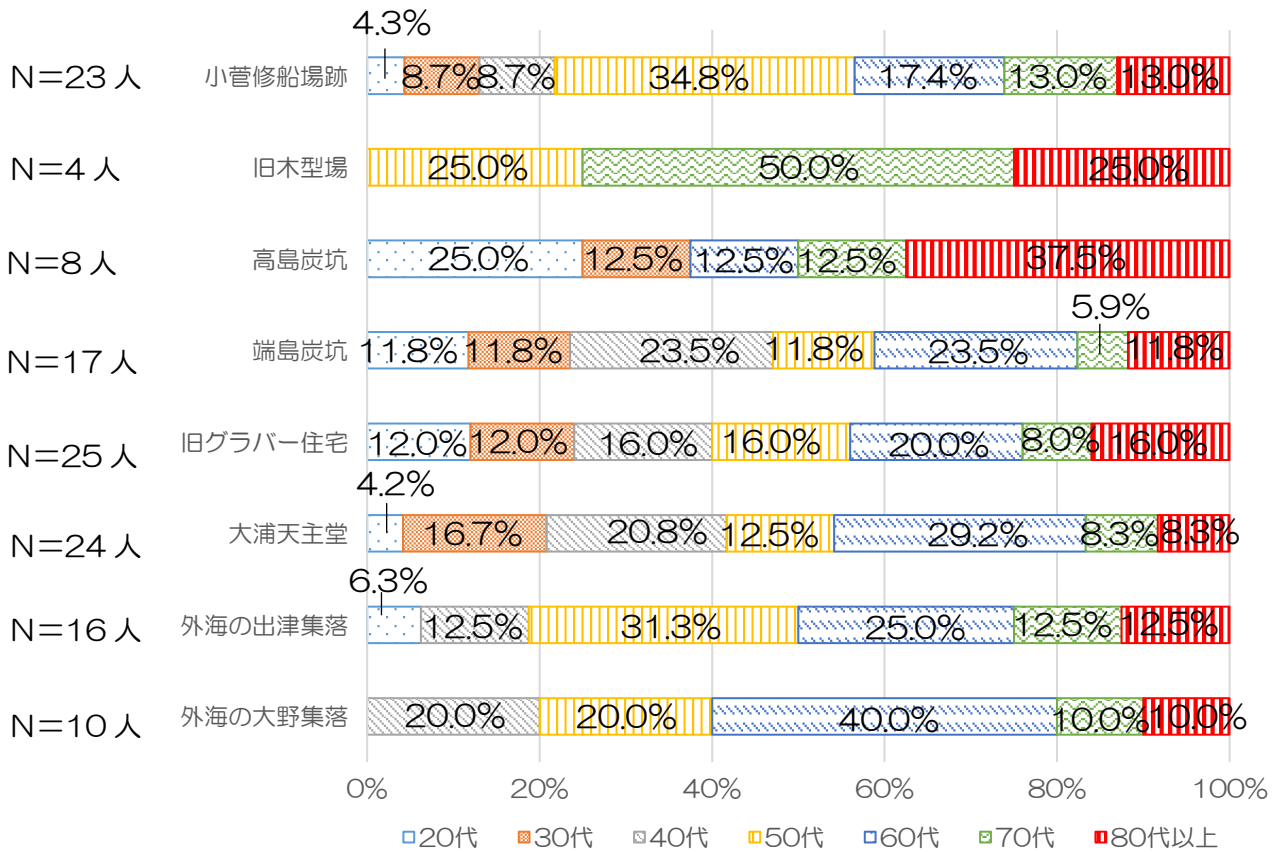
有効回答数：50、無回答：1 人（大浦天主堂～外海の大野集落）



### 各選択肢の性別割合



### 各選択肢の年代別割合



構成資産ごとに見ると、市内中心部にあり観光地として知られることから、「大浦天主堂（82.8%）」、「旧グラバー住宅（71.4%）」に実際に行った方が多いことが分かります。

一方で、「旧木型場（11.4%）」、「高島炭坑（22.9%）」、「外海の大野集落（34.5%）」に実際に行った方は少ないことが分かります。

また、「外海の大野集落」に関しては性別ごとにみると男性の訪問者が8割以上を占めていました。

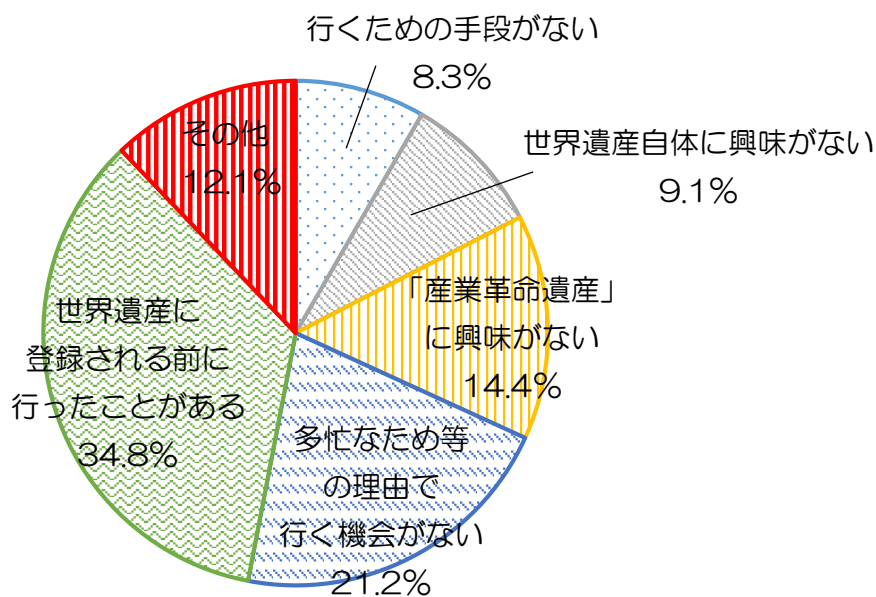
加えて、「旧木型場」に関しては年代別にみると70代以上の方は半数以上が訪問しており、高い関心がうかがえるものの、60代以下は「旧木型場」に行ったと回答された方は3割未満にとどまりました。

問 20 問 16で「2 『産業革命遺産』は行った」、「3 『潜伏キリシタン関連遺産』は行った」、「4 どちらも行っていない」と回答した方、または、問 17で「1 登録される前」と回答した方に質問です。これまでもしくは世界遺産登録後に各構成資産に行かなかった理由をお選びください。（「産業革命遺産」及び「潜伏キリシタン関連遺産」においてそれぞれご回答ください。行ってない遺産または登録される前にのみ行った遺産についてご回答ください。）

【産業革命遺産】

選択肢	回答者数	割合
行くための手段がない	11人	8.3%
ガイド（各構成資産の説明を行う）がない	0人	0.0%
世界遺産自体に興味がない	12人	9.1%
「産業革命遺産」に興味がない	19人	14.4%
多忙なため等の理由で行く機会がない	28人	21.2%
世界遺産に登録される前に行ったことがある	46人	34.8%
その他	16人	12.1%
合計	132人	100.0%

無回答：16人、無効回答：11人



その他の回答

- ・わざわざ行くという場面がない
- ・野母崎在住のため、端島を毎日見ているので行こうとまで思わない
- ・いつでも行けると思うから
- ・炭坑とは負の遺産
- ・そもそも知らなかった

- 近くを通ることはあっても、それを目的として行こうとは思わなかった
- 経済的理由
- 端島に上陸してみたいが、観光客が落ち着いてからと思っていたら、台風などで工事中になり上陸できなかつたりで機会を逃している
- そのうちにとまっている
- これを見る魅力が伝わってこない  
ここに足を運ぶメリットは？
- 登録されたことで観光客が増えたので
- 3密を防ぐため
- 行く機会がない
- わざわざ行かない
- 費用がかかる
- 行かなくても外から見ることができるから
- 端島（軍艦島）は行きたいと思うけど高くていけない  
その他は興味がない
- 出産後だったため、小さい子がいる

「産業革命遺産」の各構成資産に世界遺産登録後に行かない理由として、「世界遺産に登録される前に行ったことがあるから（34.8%）」との回答が一番多い結果となりました。次いで「多忙なため等の理由で行く機会がない（21.2%）」『産業革命遺産』に興味がない（14.4%）」となっています。

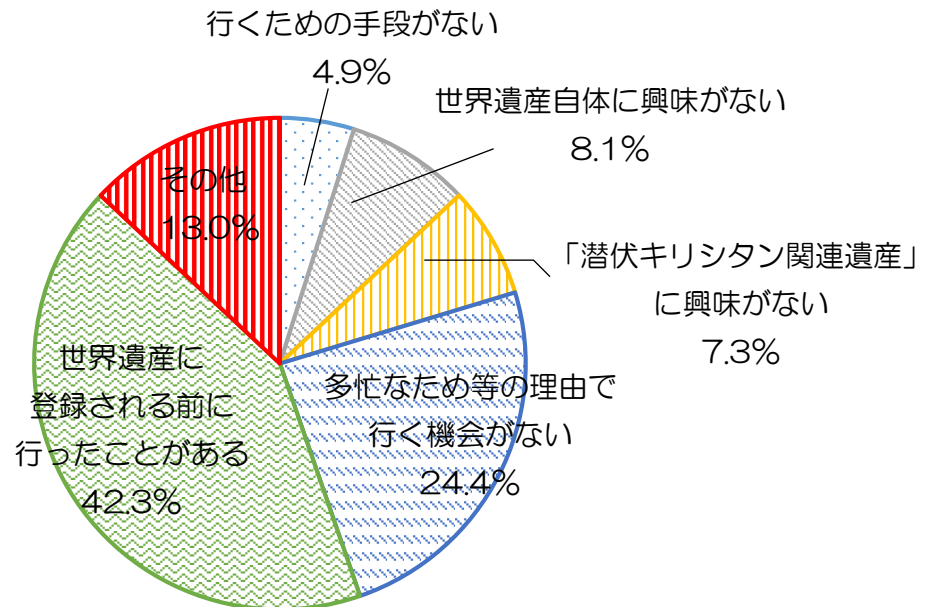
このことから、登録後には行っていないが、各構成資産自体には足を運んだことがある方が多いということがうかがえました。また、世界遺産や「産業革命遺産」に興味がない旨の回答は2割程度にとどまっており、「産業革命遺産」に対する関心はあることが分かりました。

また、行かない理由として、「いつでも行ける」「わざわざ行かない」という意見があり、「産業革命遺産」を訪れさせるほどの魅力を伝えることができていないことがうかがえました。

【潜伏キリシタン関連遺産】

選択肢	回答者数	割合
行くための手段がない	6人	4.9%
ガイド（各構成資産の説明を行う）がない	0人	0.0%
世界遺産自体に興味がない	10人	8.1%
「潜伏キリシタン関連遺産」に興味がない	9人	7.3%
多忙なため等の理由で行く機会がない	30人	24.4%
世界遺産に登録される前に行ったことがある	52人	42.3%
その他	16人	13.0%
合計	123人	100.0%

無回答：26人、無効回答：20人



その他の回答

- ・わざわざ行くという場面がない
- ・行こうと思えばいつでも行ける感覚なのでなかなか行かない
- ・教会にお金を払っていくことに魅力を感じないから
- ・仏教徒である
- ・そもそも知らなかった
- ・経済的理由
- ・熊本県に在住している際に、天草のほうでキリシタン関連遺産に行った
- ・あるとは知らなかった
- ・歴史が好きでないから自ら行かないと思う  
偉大な遺産もあるだけなら維持費の無駄  
役所はもう少し考えるべき

- ・観光客が増えたため
- ・3密を防ぐため
- ・費用がかかる
- ・行かなくても外観を見られるから
- ・少しは興味があるが、わざわざ行こうとは思わない
- ・バスツアー的なものがあれば行こうと思う
- ・興味はあるが行くほどの興味がない
- ・きっかけがあれば行きたい

「潜伏キリシタン関連遺産」の各構成資産に世界遺産登録後に行かない理由として、「世界遺産に登録される前に行ったことがあるから（42.3%）」との回答が一番多い結果となりました。次いで「多忙なため等の理由で行く機会がない（24.4%）」となっています。

このことから、登録後には行っていないが、各構成資産自体には足を運んだことがある方が多いということがうかがえました。また、世界遺産や「潜伏キリシタン関連遺産」に興味がない旨の回答は2割未満にとどまっており、「潜伏キリシタン」に対する関心はあることが分かりました。

また、行かない理由として、「わざわざ行かない」という意見があり、「潜伏キリシタン関連遺産」の各構成資産を訪れようと思わせるほどの魅力を伝えることができていないことがうかがえました。

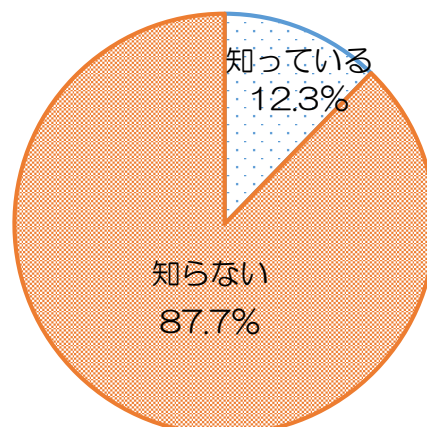
「産業革命遺産」、「潜伏キリシタン関連遺産」の両遺産とも「世界遺産に登録される前に行ったことがあるから」の割合が多いことが分かりました。

また、行かない理由の内容についていずれも「わざわざ行かない」という意見が目立ち、各構成資産を実際に訪れてより深く知っていただくためのきっかけとなるよう魅力を発信していくことが必要であることが分かりました。

問21 端島炭坑（軍艦島）を将来にわたり保全していくにあたってがんばらば長崎市 応援寄附金（ふるさと納税）や個人・企業団体等からの寄附を募るために長崎市が設置している「端島（軍艦島）整備基金」という寄附制度があることを知っていますか。

選択肢	回答者数	割合
知っている	20人	12.3%
知らない	143人	87.7%
合計	163人	100.0%

無回答：39人





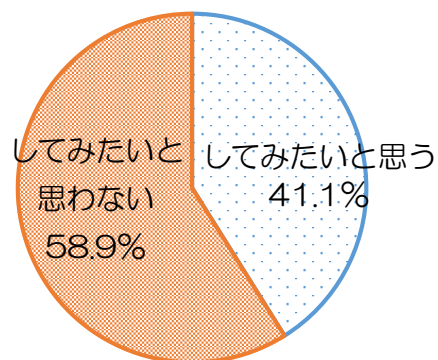
「端島（軍艦島）整備基金」があることを知っていると答えた方の割合は 12.3%で 1 割程度にとどまり、寄附制度が浸透していないことが分かりました。

また、「端島炭坑（軍艦島）」の認知度は高いにも関わらず、制度までは知らない方が多いという結果になりました。

問 22 端島（軍艦島）整備基金に寄附をしてみたいと思いますか。

選択肢	回答者数	割合
してみたいと思う	67 人	41.1%
してみたいと思わない	96 人	58.9%
合計	163 人	100.0%

無回答：39 人



各種コメント

- ・ 寄附も大切だが県の予算を多くしてもよいのではないのでしょうか
- ・ どのように整備したいのか具体的な案を知らない  
朽ち果てていくものに手をかけるのが分からない
- ・ 少しでいいなら
- ・ 誰でも気軽にできる方法と金額なら（ペイペイ等）

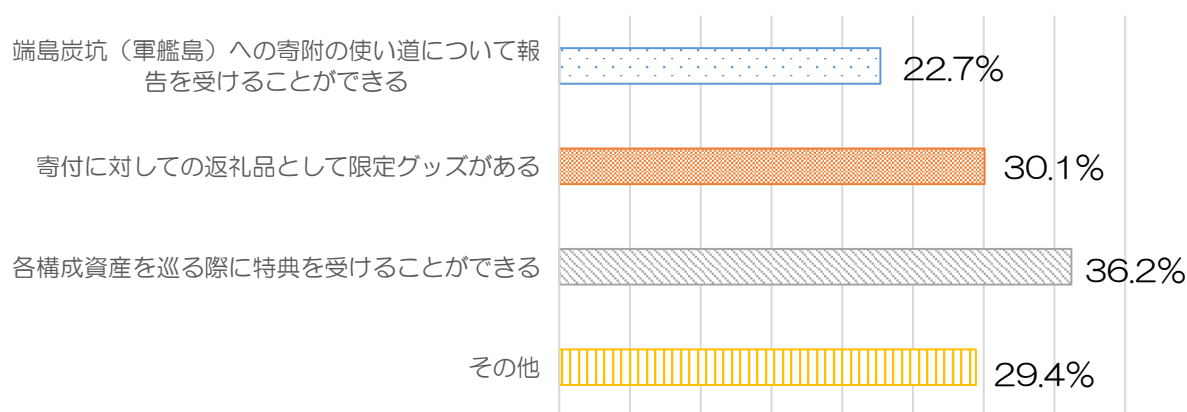
「端島（軍艦島）整備基金」に対して寄附を「してみたいと思う」と答えた方の割合は 41.1%で半数近くが寄附への意欲を示したものの、「してみたいと思わない」と答えた方が 58.9%と半数を超える結果となりました。

また、「どのように整備したいのかが分からない」、「少しでいいならば寄附をする」、「気軽に寄付ができるなら寄附をする」という意見があがっており、端島炭坑（軍艦島）の今後の整備方針や寄付金額はいくらからでも可能であること、クレジット等による寄附方法などの周知を図っていく必要があることが分かりました。

問 23 端島（軍艦島）整備基金についてどのような特典があれば寄附をしてみたいと思いますか。【複数回答可】

選択肢	回答者数	割合
端島炭坑（軍艦島）への寄附の使い道について報告を受けることができる	37人	22.7%
寄附に対しての返礼品として限定グッズがある	49人	30.1%
各構成資産を巡る際に特典を受けられることができる	59人	36.2%
その他	48人	29.4%

回答者数：163人、有効回答数：193



その他の回答

- ・ 端島への無料上陸
- ・ 各構成資産や観光地などへの招待
- ・ 特典がなくても寄附をしたい
- ・ 普段は入ることができないエリアに立ち入ることができる

「端島（軍艦島）整備基金」について、寄附をしてみたい特典として「各構成資産を巡る際に特典を受けられることができる（36.2%）」との回答が一番多い結果となり、約4割近くを占めています。

また、「その他」として「保全状況について寄附者には知らせるべき」「特典は必要ない」との意見があり、寄附する場合はその基金の使途に強い関心を抱いていただけることがうかがえました。